

自己実現への道

第 39 回 — 第 1 章 能力の走行距離は無限大に伸びる（その 1）

●**持てる資質の走行距離を伸ばすには**・・私たちが持っている資質から最大の走行距離を引き出すにはどうすればよいだろうか？ そのためにはまず、訓練とは何かを調べ、訓練の不思議な働きについて考えてみることである。私たちは工夫と努力を積み、今自分が持っているもので、予想を超える大きなことをすることができる。走行距離を伸ばし、新しい発見をすることで、私たちは生活をより楽しく充実したものにすることができる。（節約する習慣に育った人 [そのような訓練を積んだ人] は限られた収入でもやり繰りしてうまくこなす。それも生活上の一つのポイントであるが、収入はもっと増やすことができるという信念を培うことも重要である。

●**頭をよく使う人は百歳になっても進歩をつづける**・・人は成長し続けなければならない・・成長が止まると死が始まる。これは生命の法則である。「生きることは成長することである」これこそが生命の法則である。人生において現状維持というのは実はありえない。前進か後退かどちらかひとつである。だから、常に前進をめざせ。人間は、知的に、感情的に、精神的に成長を続けている限り若々しく生きていられる。

●**あらゆる災難に潜む幸福の芽**・・人が成長を停止すると衰弱と死の悪霊がいつのまにか心に忍び込んで人を迷わすようになる。しかし、人は心の持ち方によっていつも成長し続けることができる。どんな問題に出会っても、それは可能性を試すチャンスと理解し、障害物は好機と受け取り、それを心を開いて迎え入れるならば、人間は成長し洞察力が養われる。どんな状況や出来事も、人間の成長に役立つ可能性を秘めていることを忘れてはならない。また、障害物がなければ人間は大きく成長・発展できないのだ。

●**エキサイティングな成功への秘訣**・・探求心の旺盛な人にとって、人生とは興味の尽きない世界である。人生を真剣に生きる人は、目標設定や問題解決にあたって、できるだけ多くのプランを探求する。このような一途な生き方が山をも動かすのである。自分が置かれている境遇を嘆くのはやめて、そこに隠されている可能性を探しだそう。前向きに進んで、不可能を可能にしてくれる道が必ずあると念じれば、道は忽然と目の前に姿を現す。探求心を持ち続けるならば、エキサイティングな成功への秘訣を次々と発見することができる。幸福への新しいルート、繁栄への新しい道、成功への秘訣、新しい対話へのアプローチ、新しい職種、新しい思考、新しいものの見方などが見つかるのだ！（何回か失敗し、何回か挫折を味わうことが必ずある。「もうダメだ」と思われるときでも、まだまだ打開の道が残っていることを忘れてはならない。それでもなお挑む人に、遂に想像だにできなかった前途が、ある日突然拓けてくるのである）

●**意表をつく着想のヒント**・・この世に本当の意味で創造というものがあられるだろうか？ もしイエスと応えれば必ず反論者が出るだろう。創造とは完全に新しいものだけではない。既に存在している原理をだれも考えなかった新しい領域に応用する行為もまた革新的であり創造である。「諸原理をよく観察・理解し、それを新しく意表をつく分野に応用することは成功の秘訣である」（クレメント・ストーン）。事実の処理から入って行く西洋流の考えから離れて、東洋人のように原理の検討から始めてみる必要がある。「ひとつのニーズをみつけて、これを充足する」これが成功の秘訣である。何事にもこの単純な原理をあてはめて実行するとうまくいく。自分が知っていることを新しい別のことに応用してみることである。（「もうすでに誰かがやっちゃっている。新しいモノを考え出すのは難しい」と多くの人は思っている。しかし、実はどの分野でも、まだ誰も考えついていない重要なことがたくさんあるのだ。積極的に取り組もう。そうすれば意外に多くの着想がえられるであろう）

<MIKO>

📖 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より